

メーカー各位

DHV はターンポイント社と共に、クリックロックおよび T-ロック バックルに関するフィンシュテルバルダー社からの修理指示による作業を行った。

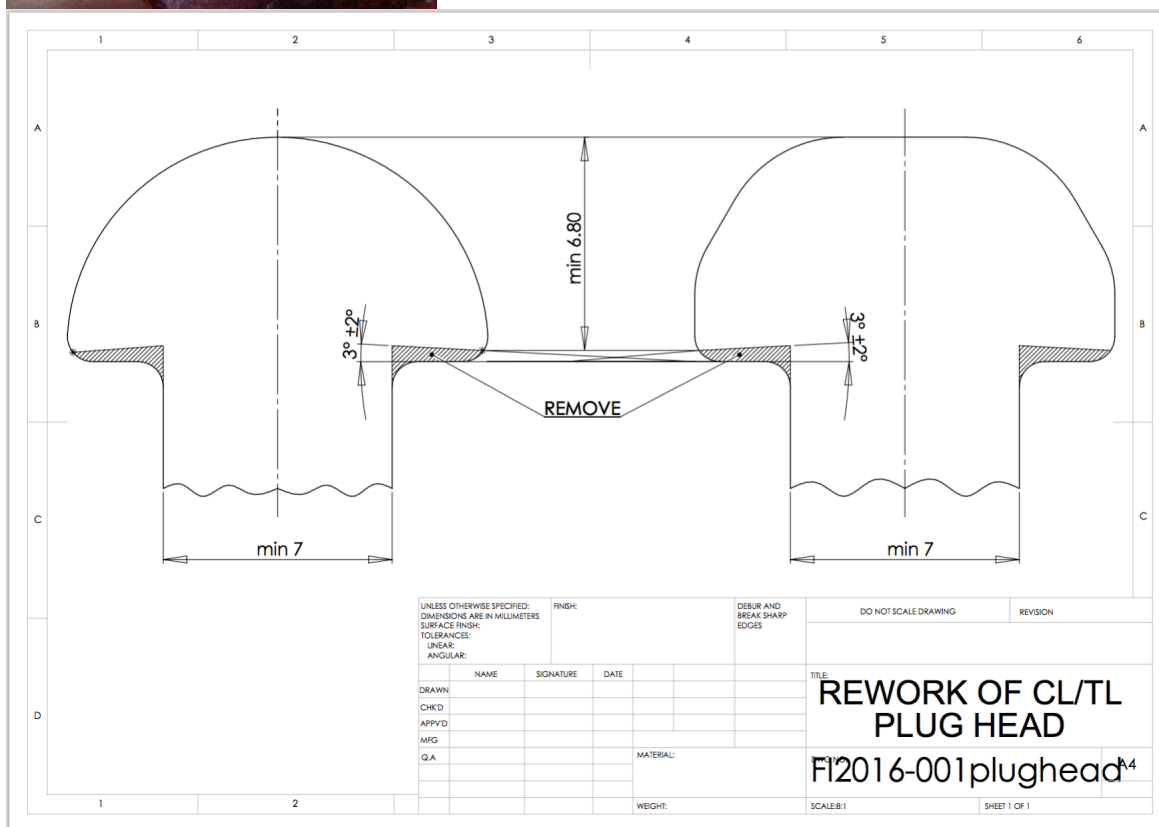
第 1:

我々はまず、飛行中に独りでの勝手にバックルが外れてしまうという基本的な問題を示すハーネスの特定作業を行った。フィンシュテルバルダー社によると、シミュレーターでハーネスに座って体重移動操作を左右に繰り返すのが、この特定を行うのに適したテスト方法である。この方法によって我々は問題のあるハーネスを発見した。

(動画 1) <https://www.youtube.com/watch?v=2XudKfbBzXo>

第 2:

次に我々はフィンシュテルバルダー社の指示に従い、適切な工具として推奨された画像中のヤスリを使用してオスの接続部を改修した。



第 3:

我々はオス接続部を改修した問題のハーネスでシミュレーターにぶら下がったのテストを再度行った。独りだけで勝手にバックルが外れるまでに至ることはできなかった。

(動画 2) https://www.youtube.com/watch?v=7rkEfrU_030

第 4:

我々は DHV のハーネス試験機でテストを行った。元のままのオス接続部を装備した問題のハーネスは、胸ベルトへの荷重 10daN から 20daN(約 10~20 kg)の間で独りだけで勝手にバックルが外れた。この結果は再現可能であった。

(動画 3) <https://www.youtube.com/watch?v=bDPXRyR5gx4>

同様のテストを改修したオス接続部で行った場合では、独りだけで勝手にバックルが外れることは全く無かった。

(動画 4) <https://www.youtube.com/watch?v=1jDXOCDWNro>

なお、これらのテストは科学的な証明であったり、統計的に確度があるものではないことに注意すること。

以上

カール・スレザク

DHV 安全性技術委員会